

### 第326回日本高速道路保有・債務返済機構債（ソーシャルボンド）への投資について

小平・村山・大和衛生組合（以下「組合」という。）は、地方自治法第241条の規定に基づき、基金を確実かつ効率的に運用するため、運用が可能な資金（施設整備基金）の一部で、日本高速道路保有・債務返済機構が発行するソーシャルボンド（以下「本債券」という。）を購入し、投資したことをお知らせいたします。

「ソーシャルボンド」は、調達資金の使途が、社会的課題への対処・軽減、ポジティブな社会的成果の達成を目指すプロジェクトに充てられる債券です。

日本高速道路保有・債務返済機構は、調達した資金をもとに、新たな高速道路の建設のほか、既存の道路の大規模更新・修繕等の実施、高速道路が果たす役割・社会貢献である日夜問わず大量に人・モノ・情報が交流する高速道路の渋滞緩和による生産性向上や環境負荷軽減、高速道路網整備による地域経済活性化や災害対策やインバウンド対策を実施しています。

今回の第326回日本高速道路保有・債務返済機構債の発行による調達資金は、①新たな高速道路網の整備や既存の高速道路の改築、②安全・安心、快適そしてイノベーションにも対応する高速道路ネットワークの強化の実現、③交通安全の実現や災害対策・復旧等の修繕、④高速道路利用における安全・安心を確保し、自然災害に対する防災、減災そして速やかな復興の実現、⑤特定の高速道路の大規模更新・修繕、⑥老朽化するインフラに対して、保全・性能向上への対策を行い、高速道路ネットワーク機能の長期的な健全化の確保に資する事業に充当される予定です。

引き続き、組合は、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みの一つとして、資金運用においても持続可能な社会の実現に資する債券（SDGs債）の購入を通じ、今後も持続可能な社会の実現に貢献できるように努めてまいります。

#### 【本債券の概要】

銘柄	第326回日本高速道路保有・債務返済機構債
年限	5年（満期一括償還）
購入額	1億円
発行日	令和6年4月25日（木）
第三者 評価機 関らの SPO	格付投資情報センター（R&I）
充足基準	ソーシャルボンド原則2021（ICMA） ソーシャルボンドガイドライン2021（金融庁）
SDGsとの マッピング	    